

1

災害時における信頼性の高い道路

国道445号は、災害等により過去10年間で13回通行止めが発生しています。
令和5年7月には、大雨により「金内橋」が落橋、通行止めとなり、熊本市～山都町間の通勤・通学等への影響が生じました。
今回開通により、平常時・災害時を問わず通行可能となり、信頼性の高い道路ネットワークが構築されます。



2

走行性及び交通安全性の向上

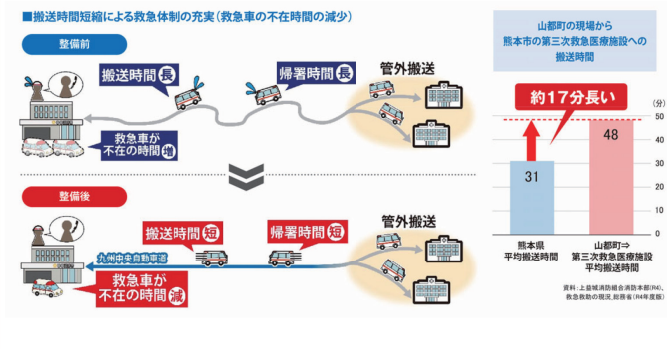
国道445号は線形不良箇所や幅員狭小が多数存在しており、急ブレーキ・急ハンドルの発生率が既開通区間と比べて約9倍多く発生しています。
今回開通により、線形不良箇所や幅員狭小区間の回避が可能となり、走行性及び交通安全性の向上が期待されます。



3

円滑な救急搬送を支援

山都町では、年間700件を超える救急搬送のうち約6割が管轄エリア外であり、そのほとんどは熊本市内の病院に搬送しています。
今回の開通により、第三次救急医療施設がある熊本市への搬送時間の短縮や、走行性向上による患者負担の軽減が図られるとともに、消防署への帰署時間が短縮することで円滑な救急救命サービスを支援します。



4

広域観光ネットワークの形成

山都町は令和5年9月に国宝認定された通潤橋をはじめ、幣立神社、蘇陽狭などの観光資源を有しており、周辺地域には阿蘇地域や宮崎県の高千穂など九州有数の観光地が存在しています。
今回開通により、点在する観光地間の周遊性が向上し、広域観光ネットワークの形成が期待されます。

